

平成31年度
三重大学大学院
工学研究科博士前期課程

第3次学生募集要項

(一般選抜)

(社会人特別選抜)

(外国人留学生特別選抜)

平成31年3月

【 入 学 試 験 日 程 表 】

<一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜>

内 容	日 程		掲載ページ
障害等のある入学志願者との事前相談	平成31年3月8日(金)まで		9 ページ
入学資格審査申請期間	平成31年3月6日(水)～3月8日(金)		7～8 ページ
入学資格審査結果通知	平成31年3月11日(月)以降		8 ページ
出 願 期 間	平成31年3月6日(水)～平成31年3月13日(水)		3 ページ
選 抜 試 験	一 般	平成31年3月18日(月)	5～6 ページ
	社 会 人		
	外 国 人		
合格者の発表	平成31年3月22日(金)		6 ページ
入 学 手 続	平成31年3月26日(火)・27日(水)		6 ページ

目 次

○ 三重大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー	1
○ 三重大学大学院工学研究科博士前期課程入学試験について	1
○ 平成31年度三重大学大学院工学研究科博士前期課程第3次学生募集要項	
I. 募集専攻及び選抜別募集人員	2
II. 出願資格	2～3
III. 出願手続	3～5
IV. 入学者選抜方法等	5～6
V. 合格者の発表	6
VI. 入学手続	6
VII. 入学資格審査	7～8
○ 各選抜共通事項	
I. 障害等のある入学志願者との事前相談	9
II. 入学検定料の返還について	10
III. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置	10
IV. 長期履修学生制度	11
V. 個人情報の利用	12
○ 三重大学大学院工学研究科（博士前期課程）の概要	
I. 工学研究科組織図	13
II. 各専攻の紹介	15～19
○ 三重大学大学院工学研究科案内図	20

三重大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー

○ このような人を育てます

工学研究科の博士前期課程には、機械工学，電気電子工学，分子素材工学，建築学，情報工学及び物理工学の6専攻が設置されています。地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とし，学際的・独創的・総合的視野を基盤にした専門的な工学の研究を通して，高度な専門技術者及び研究者としての基礎的能力を備えた人材を養成します。

○ このような人を求めます

- ① 高い志を持ち，高度な専門技術者や研究者を目指す意欲にあふれる人
- ② 工学研究に必要な基礎学力をもち，専門分野における知識と技能を学ぶために必要な実践，応用及び創造の能力に富む人

三重大学大学院工学研究科博士前期課程入学試験について

本研究科博士前期課程では，「大学等で学び得た知識や技能を本研究科でさらに発展・応用させ，より高度で専門的なものになりたいという強い意志を持つ者」，「企業や官公庁，研究機関等で積み上げた経験を生かし，大学院でさらに高度で専門的な研究を希望する者」，「技術先進国である日本で高度な知識や技術を学び，母国や世界に貢献したいという志を持つ者」といった多様な学生を積極的に受け入れ，研究・教育活動をより活性化させる目的で，「推薦による選抜」・「一般選抜」・「社会人特別選抜」・「外国人留学生特別選抜」の4種類の入学者選抜試験を実施しています。

選抜試験により出願資格・入学者選抜方法などが異なりますので，詳細については本募集要項をご確認ください。

平成31年度 三重大学大学院工学研究科博士前期課程 第3次学生募集要項

I. 募集専攻及び選抜別募集人員

専攻名	選抜別募集人員		
	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
機械工学専攻	実施しません	実施しません	実施しません
電気電子工学専攻	5名	若干名	若干名
分子素材工学専攻	実施しません	実施しません	実施しません
建築学専攻	実施しません	実施しません	実施しません
情報工学専攻	実施しません	実施しません	実施しません
物理工学専攻	実施しません	実施しません	実施しません
計	5名	若干名	若干名

※入学後、修士・博士（5年制）一貫コースを選択することもできます。

II. 出願資格

選抜試験により出願資格が異なりますので、出願を希望する選抜試験の出願資格をよくご確認ください。出願資格を満たしていない場合は、出願書類を提出しても受理されませんのでご注意ください。

(1) 一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜

○ 一般選抜

下記の①～⑩のいずれかに該当する者

○ 社会人特別選抜

次の要件A又はBに該当する者で、下記の①～⑧及び⑩のいずれかに該当するもの。ただし、見込みの者は除きます。

要件A：出願時において、企業、官公庁、研究機関等に正規職員として1年以上勤務する者で、所属長又はこれに準ずる者から本研究科の受験を承諾されたもの

要件B：要件Aに該当しない者で、過去の実務経験や国家資格の取得等により、社会人特別選抜による受験が妥当であると志望する専攻が認められたもの

○ 外国人留学生特別選抜

出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を取得又は取得見込みの外国人（日本国籍を有しない者）で、下記の①～⑦及び⑩のいずれかに該当する者

- ① 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成31年3月31日までに卒業見込みの者。
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成31年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者

- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月31日にまでに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号による）
〔旧大学令による大学を卒業した者及び文部科学省所管外の大学校等を卒業した者等〕
- ⑨ 平成31年3月31日において、次のア～エのいずれかに該当する者であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの
ア 大学に3年以上在学した者
イ 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
エ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑩ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に本研究科に入学を希望するもので、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑪ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月31日までに22歳に達するもの

- 「注」 1. 出願資格⑨、⑩、⑪による出願を希望する者は、「Ⅶ. 入学資格審査」（8～9ページ）を参照してください。
2. 社会人特別選抜で要件Bによる出願を希望する者は、出願前に三重大学工学研究科チーム学務担当にご連絡ください。
3. 外国人留学生特別選抜で合格し、入学しても、「留学」の在留資格を取得していない場合は、留学生（「留学」の在留資格を有する者）を対象とした各種奨学金や学生寮等への申請資格はありません。
4. 外国人留学生特別選抜で合格した場合でも入国手続の都合上、4月に日本に入国できない場合があります。

Ⅲ. 出 願 手 続

(1) 出願期間

選 抜 名	出 願 期 間
一 般 選 抜	平成31年3月6日(水) から 平成31年3月13日(水) 17時まで (必着)
社 会 人 特 別 選 抜	
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜	

(2) 出願方法

入学志願者は、出願期間内に以下の〈出願書類等〉を、郵送又は持参により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。

<出願書類等>

【全選抜共通】

書 類 等		摘 要
ア	入 学 志 願 票	【本研究科所定の用紙】 記入の際は、志願票裏面の「入学志願票記入要領」を参照してください。 「振込証明書」を所定の欄にはがれないように、のりで貼り付けてください。
イ	受 験 写 真 票 ・ 受 験 票	【本研究科所定の用紙】 出願前3か月以内に撮影した、縦4cm、横3cm、無背景、無帽、正面向きのものを、所定の枠内にはがれないように、のりで貼り付けてください。
ウ	入 学 検 定 料	30,000円 ※振込手数料が別途必要となります。 振込の際には、振込用紙に記載の【納入方法】と【注意事項】を必ずお読みください。 (日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は不要です。)
エ	卒 業 (見 込) 証 明 書 等	出身大学等の所定のもの (本学部卒業者及び在学者は不要です。)
オ	出 身 大 学 等 の 成 績 証 明 書	出身大学等の所定のもので、発行者において厳封したもの
カ	受 験 票 送 付 用 封 筒	長形3号の定形封筒に、郵便番号・住所・氏名を明記し、362円分の郵便切手を貼ってください。
キ	宛 名 シ ー ル	合格通知書等を送付する住所を記入して下さい。

【一般選抜志願者のみ提出】

書 類 等		摘 要
ク	志 望 理 由 書	【本研究科所定の用紙】
ケ	研 究 計 画 書	【本研究科所定の用紙】

【社会人特別選抜志願者のみ提出】

書 類 等		摘 要
コ	研 究 計 画 書	【本研究科所定の用紙】
サ	研 究 等 業 績 調 書	【本研究科所定の用紙】
シ	受 験 承 諾 書	【本研究科所定の用紙】 要件Aにより出願する者のみ提出 所属長又はそれに準ずる者が記入し押印したもの
ス	業 績 等 を 確 認 で き る 書 類	要件Bにより出願する者のみ提出 過去の実務経験や資格取得等を客観的に確認できる書類(コピー可)

【外国人留学生特別選抜志願者のみ提出】

書 類 等		摘 要
セ	日本語能力を確認できる書類	JASSO(日本学生支援機構)が実施する日本留学試験の成績や JEES(日本国際教育支援協会)が実施する日本語能力試験の成績, 出身大学等が発行する日本語の教科に関する成績証明書等
ソ	国籍・在留資格を証明できる書類	旅券の写し及び住民票の写し又は住民票記載事項証明書 (日本国外在住者は住民票の写し, 住民票記載事項証明書は不要です。)
タ	国費外国人留学生であることを証明できる書類	出身大学等の所定のもの 日本政府(文部科学省)国費外国人留学生のみ提出してください。
チ	研 究 計 画 書	【本研究科所定の用紙】

(3) 出願に関する注意事項

- ① 選抜試験により出願期間・出願書類が異なりますので注意してください。
- ② 郵送により出願する場合は、「書留郵便」としてください。なお、出願期間を過ぎて到着したものは受理いたしませんので、郵便事情を考慮のうえ、余裕を持って発送してください。
- ③ 持参により出願する場合は、9時から17時までを受付時間とします。(土曜・日曜・祝日を除く。)
- ④ 電話・FAX・電子メール等による出願は受け付けません。
- ⑤ 出願書類の提出後の内容変更は認めません。また、受理した出願書類は返還しません。
- ⑥ いったん払い込んだ入学検定料については、次のア又はイに該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。(ア又はイに該当する場合は、13ページをご覧ください。)
ア 入学検定料を払い込んだが出願しなかった又は出願書類が受理されなかった。
イ 入学検定料を誤って二重に払い込んだ。
- ⑦ 事前の入学資格審査で提出した書類については、再提出する必要はありません。
- ⑧ 外国人留学生特別選抜の志願者で、現在、本学の在学者及び研究生等として在籍している者については、提出書類のうちセ～タまでを省略することができます。

IV. 入学者選抜方法等

(1) 入学者選抜方法

選 抜 名	入学者選抜方法
一 般 選 抜	提出書類の審査, 面接・プレゼンテーションの結果を総合して行います。
社 会 人 特 別 選 抜	提出書類の審査, 面接・プレゼンテーションの結果を総合して行います。
外国人留学生特別選抜	提出書類の審査, 面接・プレゼンテーションの結果を総合して行います。

「注」 プレゼンテーションについて

プレゼンテーション時間は20分間とし、卒業研究の概要と大学院進学後の研究計画について説明していただきます。プロジェクターおよびWindows PCを試験室に準備するので、当日にプレゼンテーション用の電子ファイルをUSBメモリに記録のうえ持参してください。その他の資料・機器等の持ち込みや配布は認めません。

(2) 試験日程及び試験会場

日 程：平成31年3月18日(月)
試験会場：三重大学大学院工学研究科

「注」 試験当日の集合時間・集合場所は、受験票を送付する際に通知します。
工学研究科の場所については、20 ページの「三重大学大学院工学研究科案内図」を参照してください。

<学力検査試験時間について>

【全選抜】

専攻名	試験時間割						
	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
電気電子工学専攻		プレゼンテーション・面接 11:00～12:00					

V. 合格者の発表

(1) 発表日

選抜名	合格発表日
一般選抜	平成 31 年 3 月 22 日(金) 10 時頃
社会人特別選抜	
外国人留学生特別選抜	

(2) 発表方法

合格者の受験番号を本学工学部掲示板に掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付します。
また、三重大学大学院工学研究科・工学部ホームページに「合格者受験番号一覧」を掲載します。

〔三重大学大学院工学研究科・工学部ホームページ【<http://www.eng.mie-u.ac.jp/>】
掲載期間：合格発表日から1週間程度〕

(3) 合格発表に関する注意事項

- ① 電話等による合否の照会には一切応じられません。
- ② ホームページに掲載する「合格者受験番号一覧」は、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格発表は掲示板への掲示及び郵送による通知で行います。

VI. 入学手続

(1) 入学手続期間：平成 31 年 3 月 26 日・27 日

(2) 入学料及び授業料

- ① 入学料：282,000 円（予定額）
- ② 授業料：前期分 267,900 円（予定額）
（年 額 535,800 円）（予定額）

「注」 1. 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。
2. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定された新授業料が適用されます。
3. 入学料及び授業料の免除、徴収猶予を希望する者は、入学料、授業料を納入する前に申し出てください。（詳細は入学手続要項で確認するか、学務部学生支援チーム免除担当（TEL 059-231-9678）に問い合わせてください。）
4. 本研究科では、職業等に従事しながら教育研究活動に取り組む者を対象とした「長期履修学生制度」を設けています。本制度については、14 ページを参照してください。

Ⅶ. 入学資格審査【出願資格⑨, ⑩, ⑪により出願する者】

出願資格⑨, ⑩, ⑪による出願を希望する者は, 以下の手続により事前審査を受けてください。

(1) 申請期間

平成 31 年 3 月 6 日(水) から 3 月 8 日(金) 17 時まで (必着)
--

(2) 申請方法

申請期間内に以下の<入学資格審査申請書類等>を, 郵送又は持参により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。

<入学資格審査申請書類等>

	書 類 等	出願資格	摘 要
ア	入 学 資 格 審 査 申 請 書	⑨, ⑩, ⑪	【本研究科所定の用紙】
イ	履 歴 書	⑨, ⑩, ⑪	【本研究科所定の用紙】
ウ	在 学 大 学 等 の 在 学 証 明 書	⑨, ⑩	出身大学(学校)所定のもの (本学工学部在学者は不要です。)
エ	在 学 大 学 等 の 成 績 証 明 書	⑨, ⑩	発行者において厳封したもの
オ	在 学 大 学 等 の 教 育 課 程 表 (写 し)	⑨, ⑩	履修案内や授業要目に記載されている, 授業科目表及び卒業(修了)要件のコピー (本学工学部在学者は不要です。)
カ	最 終 出 身 学 校 の 卒 業 (修 了) 証 明 書	⑪	出身学校所定のもの
キ	最 終 出 身 学 校 等 の 成 績 証 明 書	⑪	発行者において厳封したもの
ク	研 究 等 業 績 調 書	⑪	【本研究科所定の用紙】 研究歴, 業績 (公表論文, 報告書, 活動記録, 取得資格等) を記入してください。
ケ	研 究 歴 を 証 明 す る 書 類	⑪	研究等業績調書に記載の研究歴, 業績 (公表論文, 報告書, 活動記録, 取得資格等) に関する資料
コ	志 望 理 由 書	⑨, ⑩, ⑪	【本研究科所定の用紙】

(3) 申請に関する注意事項

- ① 【本研究科所定の用紙】は, 事前に三重大学工学研究科チーム学務担当に請求してください。
- ② 郵送により申請する場合は, 「書留郵便」としてください。なお, 申請期間を過ぎて到着したものは受理いたしませんので, 郵便事情を考慮のうえ, 余裕を持って発送してください。
- ③ 持参により申請する場合は, 9時から17時までを受付時間とします。
- ④ 電話・FAX・電子メール等による申請は受け付けません。
- ⑤ 申請書類の提出後の内容変更は認めません。

(4) 入学資格審査の方法及び審査結果の通知

入学資格審査は提出された書類により行い, 審査結果は平成 31 年 3 月 11 日 (月) 以降に本人宛に速達郵便にて通知します。また, 入学資格が認定された者には「入学資格認定書」を交付します。

(5) 入学資格認定後の出願手続について

- ① 入学資格を認定された者は、結果通知とあわせて送付する案内と、「Ⅲ 出願手続」(3～5ページ)に基づき、出願の手続を行ってください。
- ② 社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜の受験を希望する場合は、各選抜試験で定める要件を満たしていないと、出願書類を提出しても受理されません。
- ③ 出願書類のうち入学資格審査申請の際に提出した書類については、再提出の必要はありません。
- ④ 出願資格⑩について、入学資格を認定されたが諸般の事情により当該年度に受験できなかった、受験したが不合格だったなどの場合は、次年度に実施の入学試験に限り、審査結果を有効とします。

(6) 最終成績審査

出願資格⑨、⑩により受験し合格した者に対し、平成30年3月に出身大学等の成績証明書により最終成績審査を行います。

審査の詳細については、合格通知書を送付する際に改めて通知します。

(7) 出願資格⑨による受験に関する注意事項

出願資格⑨により本研究科に入学した者の学部学生としての学籍上の身分は退学となりますので、種々の国家試験、資格試験で大学の学部を卒業することを受験資格としているものについては、受験資格がないこととなります。

各 選 抜 共 通 事 項

I. 障害等のある入学志願者との事前相談

本研究科に入学を志願する者で、障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度<下表参照>)等がある者に対しては、受験及び就学上の配慮が必要となる場合もありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

なお、相談の時期、内容によっては、本学の試験(入学後についても)までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合もありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

区分	障 害 の 程 度
視 覚	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
身体機能	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とするもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
発達障害	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とするもの
そ の 他	上記以外で、受験上及び修学上配慮を必要とする程度のもの

〔注〕日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害等のある方の受験や修学を制限するものではありません。

(1) 相談の方法

受験及び修学上の配慮を希望する場合は、電話又はFAXなどによりあらかじめ工学研究科チーム学務担当に連絡した上で、次の内容を記載した相談書(様式は特に定めません。)を、工学研究科チーム学務担当に郵送などの方法で提出してください。なお、相談の内容によっては、入学志願者又は出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

- ア. 入学志願者の氏名、性別、生年月日、住所、連絡先の電話番号
- イ. 出身大学等名・卒業(見込み)年月日
- ウ. 志望専攻・教育研究分野(第二志望がある場合は、それも記載してください。)
- エ. 障害の種類・程度(医師の診断書又は身体障害者手帳等の写しを添付してください。)
- オ. 受験及び修学上希望する具体的配慮
- カ. 出身大学等における生活状況等(主として授業関係)
- キ. その他参考となる事項

(2) 相談の時期

平成31年3月8日(金)17時(日本時間)まで(土曜・日曜・祝日を除く)

Ⅱ. 入学検定料の返還について

いったん払い込まれた入学検定料は原則として返還されませんが、次のア又はイに該当する場合は、払い込み者本人からの請求により、払い込み済みの入学検定料を返還します。

(1) 入学検定料が返還できる場合

- ア. 入学検定料を払い込んだが出願しなかった又は出願書類が受理されなかった場合
- イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

(2) 返還請求の方法

三重大学HP入試情報 (<http://www.mie-u.ac.jp/exam/folder/folder/index.html>) に掲載されています「入学検定料の返還について」にしたがって、返還手続きを速やかに行ってください。返還には、入学検定料「振込証明書」の原本が必要になりますので、大切に保管してください。

Ⅲ. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置

近年、科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人技術者、教育者、研究者の再教育への要請が高まってきています。しかし、通常の方法のみで大学教育を実施した場合、社会人は最低2年間その勤務を離れて修学する必要があるため、大学教育を受ける機会が制約されています。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」と規定され、社会人技術者、教育者、研究者の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ、本研究科では、大学院の履修を希望する社会人技術者、教育者、研究者等を積極的に受け入れるため、概ね次のような措置を行っています。

1. 通常の授業時間帯のほかに、夜間は平日の第11・12時限（18：00～19：30）まで、休日は土曜日・日曜日の第1・2時限（8：50～10：20）から第7・8時限（14：40～16：10）の間に授業を受けることができます。また、必要に応じて長期休暇を利用して授業を受けることもできます。
2. 上記による場合は、指導を希望する教員と十分相談の上、実施可能な履修計画を立ててください。

IV. 長期履修学生制度

本研究科博士前期課程は標準修業年限が2年ですが、職業等に従事しながら研究に取り組むには時間的制約など困難も多く、修了までに2年以上要することもあり、経済的負担が大きくなります。

そこで本研究科では、職業等に従事している者でも個人の事情に応じて柔軟に標準修業年限（2年）を超えて履修し、学位等を取得できるよう、「**長期履修学生制度**」を設けています。

(1) 長期履修の期間

長期履修学生として認められる期間は最大4年で、それぞれの年（学期）に支払う授業料は、標準修業年限の2年間に支払うべき授業料の総額を、長期履修学生として認められた修業年限で除した額となります。（下記【授業料の納入例】参照）

【授業料の納入例】

① 標準修業年限（2年）

1年目 (535,800円)	2年目 (535,800円)
-------------------	-------------------

<授業料総額 1,071,600円>

② 3年の長期履修学生として認められた場合

1年目 (357,200円)	2年目 (357,200円)	3年目 (357,200円)
-------------------	-------------------	-------------------

<授業料総額 1,071,600円>

$1,071,600円 \div 3年 = 357,200円$ （1年間の授業料）

③ 4年の長期履修学生として認められた場合

1年目 (267,900円)	2年目 (267,900円)	3年目 (267,900円)	4年目 (267,900円)
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

<授業料総額 1,071,600円>

$1,071,600円 \div 4年 = 267,900円$ （1年間の授業料）

「注」 【授業料の納入例】に記載されている授業料額は、予定額（年額535,800円）を基にしたもので、授業料の改定が行われた場合には、改定された新授業料が適用されます。

(2) 申請方法

長期履修を希望する場合は、申請期間内に「長期履修申請書（本研究科所定の用紙）」及び「在職証明書等（在職証明書又はそれに準ずる書類）」を、郵送又は持参により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。（土曜・日曜・祝日を除く）

申請期間：平成31年3月6日(水) から平成31年3月13日(水) 17時まで（必着）

(3) 注意事項

- ① 長期履修の申請要件や長期履修申請書（本研究科所定の用紙）の入手方法については、事前に三重大学工学研究科チーム学務担当にお問い合わせください。
- ② 長期履修を希望する場合は、必ず所定の手続により申請をしてください。入学試験の出願書類に長期履修を希望する旨の記入があっても、長期履修は認められません。

V. 個人情報の利用

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）が、平成17年4月1日から施行されました。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係る業務のほか、次のとおりです。

- (1) 合格者の住所・氏名等を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に関わる業務並びに健康診断等の保健管理に関わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できない形で、統計処理等の付随する業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

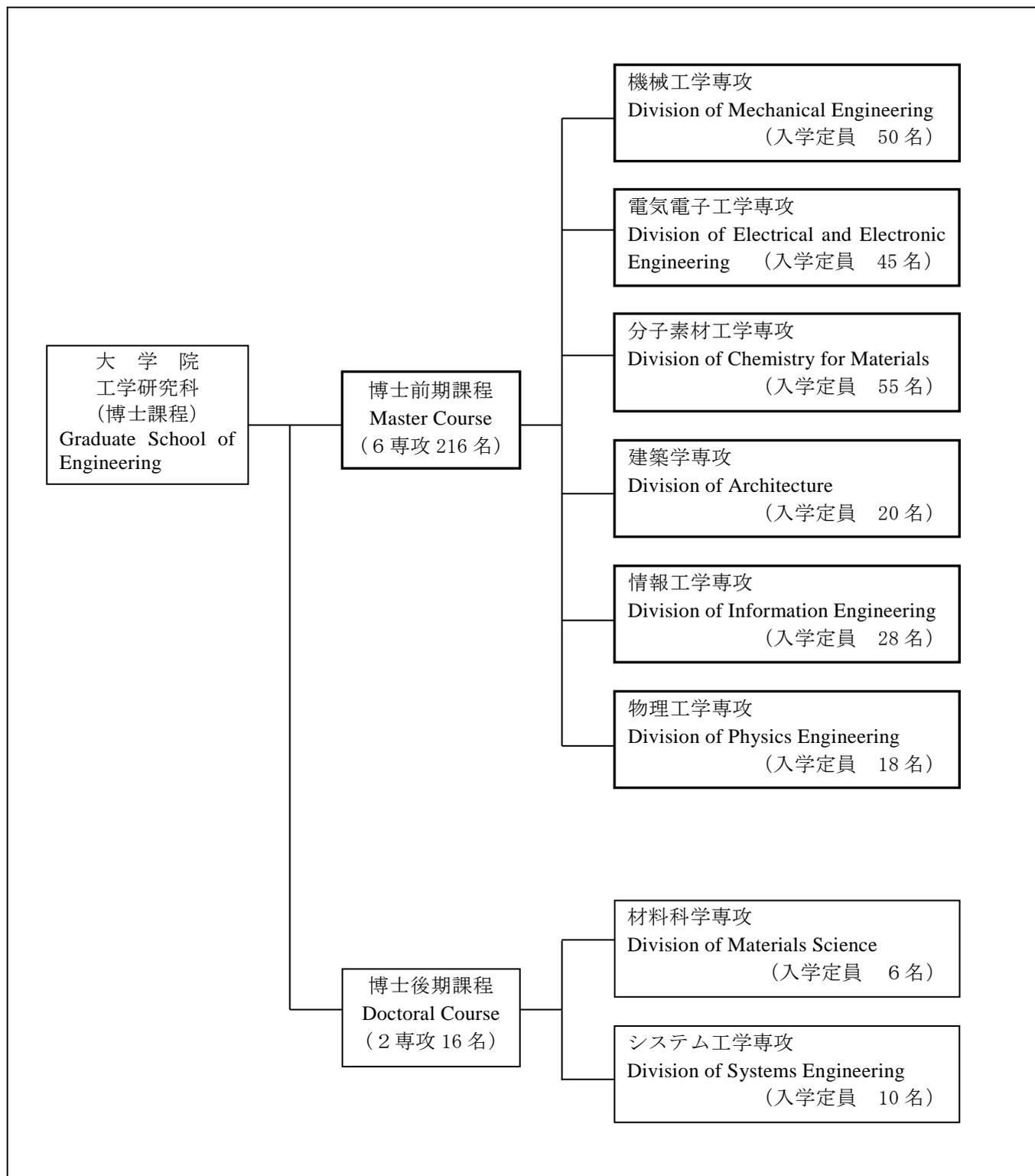
※ 本学が取得した個人情報は、個人情報保護法第9条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく、他の目的で利用または第三者に提供することはありません。

三重大学大学院工学研究科（博士前期課程）の概要

三重大学大学院工学研究科は、修業年限2年で修了者に「修士」の学位が授与される博士前期課程と、修業年限3年で修了者に「博士」の学位が授与される博士後期課程から成り、博士前期課程には、機械工学専攻、電気電子工学専攻、分子素材工学専攻、建築学専攻、情報工学専攻、物理工学専攻の6専攻があります。

各専攻の教育研究分野、担当教員等については、「Ⅱ. 各専攻紹介」をご覧ください。

I. 工学研究科組織図



II. 各専攻の紹介

【機械工学専攻】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
量子・電子機械	量子物性工学	教授 小竹 茂夫 助教 河村 貴宏	薄膜の作成と物性の評価, トンネル電流・イオンビーム及びレーザー光による物性計測, 固体電子論, 力学物性, 界面・表面現象, 量子アルゴリズム
	メカトロニクス	教授 矢野 賢一 准教授 加藤 典彦 助教 松井 博和 助教 伊丹 琢	ロボット工学, 制御工学, 人工知能, 情報処理, 電子機械学, ヒューマンインターフェース, 医療・福祉工学
	システム設計	教授 池浦 良淳 准教授 早川聡一郎 助教 堤 成可	機械力学, 人間-機械系, ハイブリッドダイナミカルシステム, 制御工学, 人間工学, ロボット工学
	生体システム工学	教授 稲葉 忠司 准教授 吉川 高正	物質及び構造物の強さ・変形及び安定性, CAE, バイオメカニクス
機能加工	材料機能設計	教授 鈴木 泰之 准教授 川上 博士 助教 尾崎 仁志	材料の機械的及び化学的諸性質, 並びに各種材料の溶接に関する基礎と応用
	集積加工システム	教授 高橋 裕 准教授 中西 栄徳	高機能化加工, 環境適合加工, 難加工材加工, 創質プロセッシング, 通電加熱応用材料加工法の開発
	プロセス解析	教授 野村由司彦	ヒューマンインターフェース, 情報処理, 認知科学, メカトロニクス, 生産・保守・福祉・教育応用
環境エネルギー	エネルギー環境工学	教授 前田太佳夫 准教授 鎌田 泰成	流体力学, 自然エネルギー利用技術(風力・マイクロ水力等), エネルギー環境機械及び装置
	エネルギーシステム設計	教授 廣田 真史 准教授 丸山 直樹 (プロジェクト研究室エコ・プロダクツ兼務) 准教授 西村 顕	熱工学, 伝熱工学, 乱流熱・物質輸送, エネルギー変換工学, 数値シミュレーション, レーザー計測, 環境工学, エコ製品設計, ライフサイクルアセスメント, 省エネルギー技術, 自動化技術
	流動現象学	教授 辻本 公一 准教授 安藤 俊剛	流体熱工学, 混相流工学, 環境・エネルギー工学, 流体・熱・物質輸送現象, 実験と数値シミュレーション

【 電気電子工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
電気システム工学	電機システム	教授 駒田 論 准教授 山村 直紀 准教授 弓場井一裕 助教 矢代 大祐 助教 小山 昌人	モーションコントロール（福祉・医療ロボット，ビジュアルサーボ，蝕覚学，ネットワーク化制御など），制御理論（データ駆動型制御器設計，ロバスト制御）
	制御システム		制御システム（電動機，電力変換器および各種制御機器）に関する制御理論と応用
	エネルギーシステム		自然エネルギー利用発電システム，省エネルギー電力制御システム，高効率電力変換システム
情報・通信システム工学	情報処理	准教授 川中 普晴	画像処理，情報メディア（文書画像，映像）理解，生体信号処理，機械学習，教育支援システム
	通信工学	教授 森 香津夫 助教 眞田 耕輔	移動体通信，衛星通信，無線LAN，高度交通システム，アドホックネットワーク
	計算機工学	教授 高瀬 治彦 准教授 北 英彦	ソフトウェア工学，教育支援システム，人工知能
電子物性工学	オプトエレクトロニクス	(教授 三宅 秀人) 准教授 元垣内敦司 助教 正直花奈子	窒化物半導体の結晶成長と物性評価，ナノフォトニクス，オプトエレクトロニクス応用，電子デバイス応用，光制御技術，照明応用
	有機エレクトロニクス	教授 飯田 和生 准教授 松井龍之介 准教授 青木 裕介	金属接続，導通現象，高分子材料，絶縁特性，コネクタ，複合体材料，有機エレクトロニクス，フォトニクス，有機・無機ハイブリッド材料の機能化
	量子エレクトロニクス	教授 畑 浩一 准教授 佐藤 英樹 助教 永井 滋一	新規ナノスケール材料，マイクロビームアナリシスのための高輝度量子ビーム源の開発とその応用，精密合成プロセス設計，ナノ材料の電子デバイス応用
	高周波フォトニクス	教授 村田 博司	光ファイバ通信，マイクロ波フォトニクス，光導波路デバイス，非線形工学デバイス

【 分子素材工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
分子設計化学	高分子設計化学	教授 久保 雅敬 准教授 宇野 貴浩	高分子の分子設計と構造制御及び機能性高分子材料の開発
	有機精密化学	准教授 八谷 巖 助教 溝田 功	新しい有機合成反応の精密設計とファインケミカルズ合成への応用
	有機機能化学	教授 北川 敏一 (准教授 平井 克幸) 准教授 岡崎 隆男	新しい機能性有機分子の設計と合成, 有機反応中間体の発生と反応
	計 算 化 学	教授 八尾 浩史 准教授 三谷 昌輝 助教 大西 拓	量子化学計算に基づく化学反応や分子物性などの理論解析
生物機能工学	エネルギー変換化学	教授 今西 誠之 准教授 森 大輔 助教 田港 聡	応用電気化学, 固体化学, エネルギー変換化学及び無機機能材料の開発
	レーザー光化学	教授 小海 文夫 助教 小塩 明	レーザー, アーク放電, 化学気相成長法などによるナノカーボンやナノシリコン物質等の合成
	分析環境化学	教授 金子 聡 准教授 勝又 英之	分析化学(極微量成分の分離・分析法の開発)と環境化学(炭酸ガスの還元・固定化, 有害化合物の無害化・無毒化)
	分子生物工学	教授 富田 昌弘 准教授 湊元 幹太	分子生物工学, 遺伝子細胞工学, 生化学に基づく次世代モノクローナル抗体作製技術の開発および人工細胞モデルの構築
素材化学	有機素材化学	教授 鳥飼 直也 准教授 藤井 義久	高分子物性(界面・コロイド化学, 薄膜物性, ソフト複合材料)
	無機素材化学	教授 石原 篤 准教授 那須 弘行 准教授 橋本 忠範	環境とエネルギーの調和, クリーンエネルギー, 環境触媒の開発, ニューガラス, ニューセラミックスの開発
	生体材料化学	(教授 宮本 啓一) 助教 晝河 政希	生体高分子(蛋白質化学, 多糖の化学など), 生体ゲル及び医療用高機能材料の開発

【 建築学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
建築デザイン	建築・地域デザイン	教授 浦山 益郎 教授 富岡 義人 准教授 浅野 聡	都市設計, 都市計画, 地域計画, 建築意匠, 建築設計論, 建築構法計画
	環境・設備デザイン	教授 永井 久也 准教授 寺島 貴根 准教授 北野 博亮	空調設備計画, 省エネルギー計画, 都市環境, 建築音響, 建築熱環境解析, 自然・未利用エネルギー
建築マネジメント	建築・地域マネジメント	教授 加藤 彰一 准教授 大月 淳 助教 大井 隆弘	ファシリティマネジメント, 医療・福祉施設計画, 地域施設計画, 教育・文化施設計画, 住宅計画, 建築ストック活用, 建築史, 建築意匠
	構造マネジメント	教授 畑中 重光 教授 花里 利一 准教授 川口 淳 助教 田端千夏子	建築構造物の不安定挙動, 建築防災工学, 建築保全工学, 建築構造材料, 建築各種構造, 建築振動学, 建築構法計画, 木質構造・構法

【 情報工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
コンピュータサイエンス	コンピュータソフトウェア	講師 大野 和彦 講師 山田 俊行	ソフトウェア基礎論, プログラミング言語, コンパイラ, アルゴリズム, 並列プログラミング
	コンピュータネットワーク	教授 太田 義勝 准教授 鈴木 秀智	コンピュータ・ネットワーク, 情報セキュリティ, コンピュータビジョン, シミュレーション
知能工学	パターン情報処理	教授 成瀬 央 准教授 成枝 秀介	パターン情報処理, デジタル信号処理, 光ファイバ応用センシング
	人間情報学	教授 井須 尚紀 准教授 河合 敦夫 助教 小川 将樹	人間情報工学, 自然言語処理, 生体情報処理
	ヒューマンインタフェース	教授 若林 哲史	文字・パターン認識, 医用画像の処理・解析, ヒューマン・インタフェース

【 物理工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
量子工学	量子物理学	教授 阿部 純義 助教 鳥飼 正志	場の量子論，量子情報，素粒子の統一理論，量子工学，複雑系科学，熱統計力学の拡張，一般物理，相転移理論，液晶，
	物性物理学	教授 佐野 和博 准教授 内海 裕洋	物性基礎論，メゾ・ナノスコピック系の物理，量子コンピューター，電子相関，固体電子論，数理科学
ナノ工学	ナノデザイン	教授 伊藤 智徳 教授 中村 浩次 准教授 秋山 亨 助教 アブダルムイツ トリプラディプト	量子応用，材料設計，物理計測，量子計算，計算機シミュレーション
	ナノセンシング	教授 竹尾 隆 (教授 野呂 雄一)	デジタル信号処理，神経回路網，微小信号の検出，音の計測・評価，光計測，光ファイバ応用技術，高周波技術
	ナノエレクトロニクス	教授 小林 正 准教授 藤原 裕司	磁性体工学，磁気記録，微粒子及び薄膜の作製，熱アシスト磁気記録，磁気センサ
	ナノプロセッシング	准教授 中村 裕一 准教授 松井 正仁	フラクタル解析，バイオプロセッシング，ノントラディショナル加工，トライボロジー，超高压力下の物性，塑性加工解析

- 「注」 1. 記載内容は，平成 30 年 10 月 1 日現在のものです。
2. () は兼務担当教員を示します。

各種問い合わせ先について

問い合わせ時間等：月曜日から金曜日の8時30分から17時まで（祝日は除きます。）

工学研究科の入学試験に関すること 授業科目・学修に関すること	三重大学工学研究科チーム学務担当 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 TEL 059-231-9469 FAX 059-231-9471 E-mail eng-gakumu@eng.mie-u.ac.jp
奨学金（日本学生支援機構）に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-9061
入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-9678
学生寮に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-5371
入学料及び授業料の納入に関すること	三重大学財務部経理チーム TEL 059-231-9028

工学研究科の概要等については、三重大学大学院工学研究科・工学部ホームページをご覧ください。

工学研究科・工学部ホームページ <http://www.eng.mie-u.ac.jp/>

工学研究科入試情報ホームページ <http://www.eng.mie-u.ac.jp/admission/index.html>

学生募集要項の請求方法について

学生募集要項を請求する場合は、「工学研究科博士前期課程学生募集要項請求」と朱書きした封筒に次の2点を同封して、三重大学工学研究科チーム学務担当宛に送付してください。

- ① 請求用メモ：便せん等の用紙に、氏名・連絡先（電話番号等）、受験予定の選抜名を明記してください。
- ② 返信用封筒：角形2号封筒に、送付先の郵便番号・住所・氏名を明記し、250円分の切手（希望部数1部の場合）を貼ってください。速達を希望する場合は、530円分の切手を貼り、封筒の上部に「速達」と朱書きしてください。